

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
多発性骨髄腫 DaraPd sc療法(1-2コース目)		28日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
d1,8,15,22	① レナデックス40mg、カロナール400mg、d-クロルフェニラミンマレイン酸塩徐放錠6mg ダラキューロ投与1時間前までに内服。 2コース目以降は問題なければ15分前まで短縮可。		
	② ダラキューロ 1800 mg 投与1時間前までにレナデックス40mg、カロナール400mg、d-クロルフェニラミンマレイン酸塩徐放錠6mg内服。 2コース目以降は問題なければ15分前まで短縮可。 調製後4時間以内に投与完了。 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に、約3～5分かけて投与する。		
d1-21	① ポマリスト 4mg 1日1回		
コメント	Pom4mg(d1-21),DEX40mg(75歳以上は20mg)(d1,8,15,22)内服. Dara前投薬:DEX,カロナール400mg,クロルフェニラミン6mg.		

プロトコールに関する解説
<p>DaraPd療法は再発・難治性多発性骨髄腫に対する標準的治療の一つです。以前より、薬剤が効きにくくなった多発性骨髄腫に対しポマリドミド・デキサメサゾンによる治療が広く行われていました。本療法は、この治療にダラツムマブを追加したもので、従来治療と比較し無増悪生存期間の延長などより優れた治療効果が報告されています。一方、本治療は従来治療と比較し肺炎、下気道感染など強い副作用の可能性がやや高くなるとされています。このため、感染予防薬の使用や薬剤投与量の調整が必要となる場合があります。</p>